

わたしたちの

ゼミへようこそ

Vol. 52

酒井ゼミ



まつお りんたろう
松尾 倫太郎
商学部商業・貿易学科4年
東京工業大附属科学技術
高等学校 (東京都) 出身

酒井ゼミでの学び

1年次に履修していたマーケティング入門の授業がとてもわかりやすく、もともと興味があったことがきっかけで酒井ゼミに5期生として入ゼミしました。4期生とは少し間が空いていたため、先輩がいない状況でのスタートでした。少し不安もありましたが、一方で、自分たち自身でゼミを作り上げてきた感覚がありますし、先生にもそれを温かく後押ししてもらっています。自分たちが主体的に意見を出し合いながら、みんなでゼミを作っていくのが酒井ゼミの特徴であり、とても好きなのでもあります。今では後輩を迎え、総勢23名で元気に楽しく和気あいあいとゼミ活動を行っています。

酒井ゼミの中で印象深いことは、3年次の冬に飲料メーカー、調査会社と共同で取り組んだ新製品に関するプロジェクトです。概要を聞いてからプレゼンまでの時間が想定以上に短かったことに加え、入ゼミが決まったばかりの後輩とチームを組んで進めていくのは大変でした。しかし、限られた時間の中で、チームで協力しながら最大限のアウトプットを出すことの難しさやりがい、やり切った後の大きな達成感を知るだけでなく、実際に

酒井ゼミで学べること



にいつま ちるる
新妻 千鶴
商学部商業・貿易学科4年
都立小金井北高等学校出身

私は、1年次に酒井先生が担当されたマーケティング入門を履修しました。ここでは、我々が普段何気なく購入しているものやサービスに、購入してもらうためのさまざまな工夫がなされていることを知りました。この授業をきっかけにマーケティングに興味を持つようになり、3年次にはサービス・マーケティングについて深く研究できる酒井先生のゼミに所属しました。

酒井ゼミの3年次はグループ活動が中心で、企業研究を行ったり既存の論文を読み込んだりします。企業研究では、実際の企業がどのようなマーケティングを行っているのか分析をするため、主体的に取り組むことでマーケティングの知識を深めることができます。そして研究の



1 酒井ゼミメンバー
2 合宿先でのグループワーク
3 合宿先での川遊び

商品販売する企業に向けたプレゼンテーション、自分たちの提案に関するディスカッションを通じて、短期間に非常に多くの学びが得られたプロジェクトでした。

4年次現在は卒業論文の執筆に向けて、テーマ設定から研究計画書の作成までを春学期に行い、現在は実際の調査に向けて準備を進めています。前期のゼミでは、テーマ設定や仮説の構築、研究計画書の作成に際して、毎週のゼミで先生からフィードバックをいただき、修正したものにまた次週のゼミでフィードバックをいただいて、という流れを繰り返して、卒業論文執筆に向けての土台作りに励んできました。最初は自分の中で考えが散散していくばかりで、收拾がつくかどうかかなり怪しかったのですが、酒井先生に相談しながら少しずつ修正していく中で、

初めの一歩



うえだ まこと
上田 愛琴
商学部会計学科3年
私立中央大学附属
横浜高等学校 (東京都) 出身

前期の終盤になって急速にまとまりができ、何とか納得のいく研究計画書を作成することができました。実際に論文の執筆をする中でも壁にぶつかることは多々あると思いますが、先生やゼミのみんなと協力しながら、2年間の集大成としての卒業論文を満足いく形で完成させられるように頑張っていきたいと思っています。

酒井ゼミでは、サービス・マーケティングについて様々な論文の輪読や企業分析などを主体としています。そんなゼミの活動を通して、輪読や企業分析の方法を身につけ、サービス・マーケティングが実際にどのように活用されているかなどを深く学んでいます。

そんなゼミ活動の中で私が一番印象に残っているのは、昨年の年度末から今年初めにかけて行われた、企業様から実際に課題提示をいただいたマーケティングプロジェクトです。昨年度の段階では、私たちの学年はお試しいという立ち位置で参加は自由でしたが、私は発表会にも参加させていただき、また発表会では、多くの意見交換ができ、また別視点からの意見なども知ることができてとても興味深かったです。

Message!

社会で通用する実力と一生の仲間を

私たちのゼミは「消費者視点のサービス・マーケティング」をテーマとしています。サービス・マーケティングの理論と実践を学び、消費者調査とデータ分析の技術を身につけながら、実践的な研究成果をめざしています。



3年次には学術論文の輪読、企業分析といった基礎的な学習から、実業界と連携した実践的な研究プロジェクトまで、さまざまな難易度の課題にグループワークで取り組みます。それらの経験を活かし、4年次には自らの問題意識に沿ったテーマで卒業論文を執筆します。合宿、懇親会、新ゼミ生選抜など、ゼミ全体のイベントも多いのですが、ゼミ長を置かず、全員が主体的に企画・運営しています。そんな中で、学生としてではなく、社会人として通用する力を身につけていきます。仲間と学び合い支え合いながら、チームとしてさまざまな課題にチャレンジする過程で、かけがえのない絆が育まれていきます。

大学時代は、長い人生の中でたったの数年ではありますが、後にも先にも、二度とは得られない貴重な時間です。大人としての意思と自由をもちながらも、まだ誰かに守られている存在だからです。正解をあらかじめ探して、周りに認められることや間違わないことを選択することは、これから先いつでもできるでしょう。ただ純粋に、自分、他者、そして社会と向き合うことができるのは、おそらく今だけです。無意識に自分にはめているかもしれない粋を、ほんの少しはみ出してみてください。その勇気を後押しできる居場所でありたいと思っています。

さかい まいこ
商学部准教授 酒井 麻衣子

そしてなにより、実際にマーケティングに関わっているプロの方からの意見を聞くことができたのはとても勉強になりました。そこでは、マーケティングがどのようなものなのか、またマーケティングの奥深さや複雑さなど、単純に講義で知識を身に着けるだけでは得られないことを多く学ぶことができました。

このようにマーケティングについて学んできた私ですが、酒井ゼミに入ったばかりの頃はたくさんの方の不安がありました。そもそも、私は会計学科専攻でマーケティングが主専攻ではない点気がかりでしたが、さまざまな講義を受ける中でマーケティングにとっても興味を惹かれていきました。そうして、私はマーケティングに関わるゼミに入りたいと思うようになり、面接の時は人一倍緊張してゼミに参加してから自分自身が活動についていけるか不安でした。しかし、先生や先輩・同級生は、学科が違って知り合いが少ない私にも積極的に話しかけてくれたり、わからないことがあつて尋ねれば親切に教えてくれたりしました。そんなゼミの温かい雰囲気もあって、私は打ち解けることができました。

これからのゼミでの活動では、4年次から取り組む卒業論文のために、まだまだ未熟な知識を補い、これまでに得てきたマーケティングの知識などを活かしながら、さらにマーケティングについてより深く学んでいきたいと思います。